

JEROEN VAN DER VEER

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Former Chief Executive of Shell & Former Vice Chairman of Unilever
- Vice-Chairman of ING Group (since 2009) and Chairman of the Supervisory Board of Philips (since 2011)



Jeroen Van der Veerは、Royal Dutch Shellの元CEO(2004-09)です。2013年まで、彼はShellの非常勤取締役を務めていました。

彼はエネルギー、リーダーシップ、そして管理に関する主導的な権威であり、彼のアドバイスは幅広い業界で広く求められています。彼は、Royal Dutch Shellでの42年間の勤務中にさまざまな役職を歴任し、世界中の主要市場で外国のポストを管理しました。

ユニリーバの副会長兼シニアインディペンデントディレクターであり、現在はINGグループの副会長(2009年以降)およびフィリップスの監査役会会長(2011年以降)を務めています。

Topics

- Business
- CEOs
- Entrepreneurship
- Executives

Van der Veerは1992年にShell Nederlandのマネージングディレクターになりました。彼はPernis製油所の20億ドルのアップグレードを含む主要なリストライニシアチブを率いました。1995年、彼はシェルケミカルの社長兼最高経営責任者としてアメリカ合衆国に移り、1997年にグループマネージングディレクターに任命されました。ケミカルズは引き続き彼の責任分野の1つであり、世界規模の事業再編を監督しました。彼は、2004年にRoyal Dutch Petroleum CompanyとShell Transport and Tradingの理事会の委員長を務めました。これら2つの会社がRoyal Dutch Shellに統合された後、彼は新しい会社の最高経営責任者に任命されました。説明責任を明確にしながらVan der VeerはShellに大きな変更を加え、統治と組織を簡素化しました。

彼はオランダ中央銀行の監査委員会のメンバーであり、そして化学産業協会(2002-04)の世界会長でした。持続可能な開発のための世界経済人会議の執行委員会の副委員長(2006-09)に任命されNATOの新しい戦略的概念について助言した専門家グループの副議長も務めました(2009-10)。2012年にはEIT理事会の執行委員会のメンバーであるNewEnergyArchitecture WEF(世界経済フォーラム)の議長、およびロッテルダム気候イニシアチブの議長に任命されました。

現在の注目されている役割に加えてVan der Veerは現在TU Delftの監査役会会長Concertgebouw NVの監査役会のメンバー、'Het Nationale Toneel'の委員会のメンバーでもあります。Het Nederlands Openluchtmuseumおよび科学技術教育を推進する政府機関である科学技術プラットフォームPlatform Beta Techniekの会長。